



### 湿原散歩

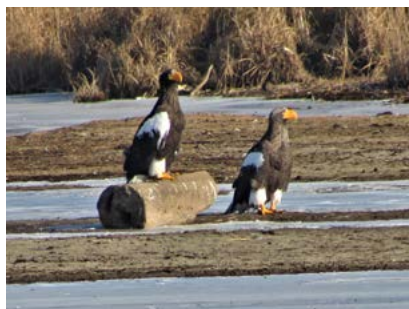
晴天の日が続いた釧路湿原に先日雪が降った。凍り始めた湖面に積った雪はやがて染み出した水と混ざりながら、墨絵のような独特の文様が現れた。水鳥の姿がほとんど消えてしまい、冬の季節風が湖岸の樹木を揺らす空にはオジロワシやオオワシが翼を広げながら飛んでいる。旋回しながら餌を探しているのだろうか？時には悠々と飛ぶワシに執拗に邪魔をするカラスがいて、根負けしたワシはしばらくすると近くの木に降りた。再び小雪が舞う湖面から、長い冬の始まりを告げるような音が辺りに響いていた。



## 塘路フィールドノート【11/15～12/14】

### 【野鳥】

晩秋の賑わいから一転、湖面の結氷が進み、水鳥たちの多くが姿を消した初冬の塘路湖。湖面はやや寂しくなりましたが、代わって上空や湖岸沿いの樹上に勇壮なおオワシ・オジロワシの姿が目立つようになってきました。



オオワシ (シラルトロ湖)

湖北側の浅瀬にいた2羽。今年は塘路湖よりもこちらに集まることが多いようです



オジロワシ (塘路湖畔)

湖畔の樹上で羽を休める成鳥。12月に入ってから湖上を飛び交う姿もよく見られます



シメ (塘路湖畔)

近くの樹上に飛来してきた♀。樹上のほか、芝生で餌をついばむ姿も時々見かけます



カワアイサ (塘路湖)

センター前の水域を通過して行った大きな群れ。晩秋の塘路湖畔を代表する光景です



ミコアイサ (塘路湖)

飛来は昨年より大分遅かったものの、ここ最近をよく見かけます。左はエクリプスの♂



ヤマゲラ (塘路湖畔)

センターの前をウロウロしていた♂。時々センターの外壁をついていることも…



## 【植物】

紅葉・黄葉の季節が終わり、自然の中から赤や黄色の色彩がほとんど生み出されなくなるこの季節。一見単調に見える初冬の風景ですが、よく探すと、樹々の枝先に果実の鮮やかな色彩がわずかに残っていることに気づきます。



カラフトイバラ（塘路湖畔）  
ドライフルーツ状の果実。しおれて夏の結実時よりもだいぶサイズダウンしています



ネムロブシダマ（フィット\*の森）  
塘路湖周辺ではまれな樹木。森の中で小さな赤い実がほんのわずかに残っていました



ツルウメモドキ（元村キャンプ場）  
初冬の湖畔で見られる最も鮮やかな色彩の一つ。数は少ないものの存在感は抜群です

## ◎塘路湖の結氷状況



11月30日  
昨年全面結氷した日。今年はまだ結氷は見られず



12月7日  
対岸から沖合付近の結氷面が徐々に大きくなる



12月11日  
ほぼ全面結氷（写真奥に一部未結氷部分あり）



12月14日  
←からさらに結氷が進むも、いまだ全面結氷せず

## ◎釧路湿原のキノコについて学びました



キノコ講座三回シリーズの最終回となる「初冬のキノコ講座」を11月5日（土）、当センターで開催しました。過去二回（8月と9月）は野外でのキノコ観察だったのに対し、今回はスライドや映像資料を使った座学講座。講師の奈良泰世氏（北海道キノコの会）に釧路湿原で見られるキノコについて、それぞれの見分け方や生態などを詳しく解説していただきました。

知れば知るほど不思議なキノコの世界。参加者の方たちも貴重な機会とあって、講師の解説に熱心に耳を傾けるとともに、疑問に思ったことを積極的に質問していました。参加者8名

## ◎毎年恒例のクリスマスリース作り

11月21日（土）、毎年恒例のクリスマスリースづくりのイベントを開催しました。松ぼっくりやドライフラワーなどの自然素材や市販のオーナメント素材を使ってオリジナルリースを作るこのイベント、今年も例年どおり個性豊かな作品がたくさん出来上がりました。自然の素材だけを使ったナチュラルな風合いの作品、オーナメント素材を効果的に使ったカラフルな作品、ドライフラワーをふんだんに盛り込んだ華やかな作品などなど。

素材の使い方などについて、講師からアドバイスを受けながら、夢中で作業を続けていた参加者の皆さん。最後に、出来上がった自らの作品を壁にかけて、その出来栄を見る表情には、満足感があふれていました。参加者11名



## ◎初冬の塘路湖畔を散策

12月5日(土)、結氷が始まった塘路湖の周辺を散策する観察会を開催しました。この日のテーマは「冬鳥の観察」、「植物たちの冬の姿の観察」、「五感で自然を感じる」の三つ。まず、湖畔の散策道沿いでは、オオワシ(この日見られず)・オジロワシの観察や、狭くなった開水面に集まるカモなどの水鳥を観察し、森の中では、樹木の冬芽やわずかに残った果実など、植物の冬の姿を観察しました。その後、元村キャンプ場付近の湖岸では、御神渡りをはじめ、真冬に氷



が生み出す現象について紹介しました。

さらに、今回の観察会では動植物などの解説と並行して、自然の中に赤や黄色の色彩(主に植物の実)を探したり、この時期ならではの音(霜柱や落ち葉を踏む音)に耳を澄ませたりといった、五感を使った自然観察の楽しみ方についても紹介しました。

参加者 12名

## 1月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 連風を作って揚げよう

[日 時] 1月16日(土) 10時~12時

[定 員・参加料] 10名 100円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 湿原アニマルトラッキング

[日 時] 1月17日(日) 10時~12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 11/15(6:14,15:59). 11/30(6:32,15:49).12/14(6:45,15:48)

～編集後記～

■師走を迎えた塘路湖は氷が張ったものの、所々に水面が顔を覗かせています。今年は降雪も遅れましたが、先日降った雪で道路は凍結して、帰る頃には路面も鏡のように輝く「ブラックアイスバーン」となりました。それでも追い越し運転をするドライバーがいたようです。日没も早くなりましたので、冬道の運転にはエゾシカの出没とともに十分注意して下さいね。では皆様良いお年をお迎えください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00 ~ 16:00

(4~10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日~1月3日

入館無料